

発表者  
矢野原 佑史

神戸大学 国際文化学研究科 国際文化学研究推進インスティテュート  
アフリカン・コンヴィヴィアリティ・センター 特命助教

Abstract

発表者は、カメルーン都市部で実践されるヒップホップをはじめとしたポピュラー音楽と、  
同国熱帯林地域に暮らす狩猟採集民バカの在来音楽実践を対象にフィールドワークを行ってきた。  
本発表では、これまでの研究を一部オートエスノグラフィの形式で報告する。  
また、調査過程で創発的に形成された、ミュージックビデオ共同制作分析法や、  
マルチトラック・レコーディング分析法といった方法論を紹介し、  
マルチトラク・レコーディング分析法といった方法論を紹介し、  
それらが「音楽」の理解にどのような新たな視座をもたらしたのかを検討する。  
最後に、これらの実践を通して見えてきた、「フィールドにおける音楽と  
コンヴィヴィアリティの動態的関係を記述すること」の可能性について議論したい。

アフリカ音楽とコンヴィヴィアリティ  
カメルーン都市部と熱帯林地域における音楽実践の研究事例から

2026.5.12 Tue.

- 会場 | 神戸大学 鶴甲第一キャンパス E棟大会議室
- 時間 | 17:00~18:30 (16:30 開場)
- 形式 | オンラインと対面のハイブリッド形式
- 対面・オンラインともに  
下記のQRコードより参加登録をお願いします  
(登録締め切り 5月10日)
- 研究会終了後(19:00~)には  
懇親会の開催を予定しております

参加登録用コード



主催 | 神戸人類学研究会  
共催 | 神戸大学国際文化学研究推進インスティテュート (Promis)  
日本アフリカ学会関西支部  
問い合わせ先 | 神戸人類学研究会 anthropologykobe@gmail.com

